

Books & Trends

『なんでそうなるの？ 中国の若者は日本のココが理解できない』を編んだ

日本僑報社代表

段躍中氏に聞く

著者 だん・やくちゅう ●1958年中国湖南省生まれ。中国の有力紙「中国青年報」記者・編集者を経て、91年来日。96年「日本僑報」創刊。2000年新潟大学大学院で博士号取得。05年から日中作文コンクールを主催。星期日漢語角(日曜中国語サロン)、日中翻訳学院も主宰。09年外務大臣表彰ほか受賞多数。刊行書籍は300点超。



なんでそうなるの？ 中国の若者は日本のココが理解できない
日本僑報社
2000円+税 / 269ページ

に日本憎しの感情を刷り込んでいく。番組自体は正直全然面白くないですよ。でも政府の方針だし、ほかの企画では予算が通らない。中国人自身、そうした事情はよく承知しています。日中交流をもっと別の角度からとらえ直す企画や民間交流におカネを回すべきだと、私はブログで書き、中国のメディアも取り上げてくれました。中国のマスコミ関係者も問題はよくわかってるんです。

——今回初めて、日本語教師を対象にした賞も創設したのですね。

はい。北京での表彰式では日本大使の手から表彰状をお渡しして、体験談を語ってもらいました。われわれが差し上げられるのはそうした名誉だけで、到底力不足です。国や政府にもっと日本語教師を応援してほしいと思っています。

ここで強調させていただきたいのが日本人教師の持力です。今中国全土で日本人教師の数は2500人くらいですが、日中関係の冷たい空気の中、薄給で言葉もままならないまま、日本をよく知らない若者たちに日本語と日本文化を教えてくれている。発音練習を兼ねた朗読用にと、毎朝日本から家族に新聞のコラムをファクスしてもらったり、それは献身的です。まさに日本国を代表する民間大使です。そうした先生方にもっとライトを当ててほしい。

中国の抗日メディアも問題ありと自覚してる

2011年に最優秀賞を取った青年の作文は、東日本大震災直後、ネット掲示板で日本に声援を送った彼をのしる友人に対し、理性を持って説得し、最後は共に支援するまでを描いた話でした。このときも日本人の先生の影響が大きかった。

——日本へ行ったら「近所のおばあちゃんたちとも仲よくしたい。日本人のよい習慣はどんどんマネして、私の態度で中国人に対するイメージをよいほうに変えたい」というような、力強い言葉も多かった。

そういう高い意識を持つ若者はすごく多いですよ。日本が好き、日本のことを学びたい、日本へ行つて経験したことを周りに伝えたいと公の場でも話す学生は本当に多い。

政府は抗日ドラマを作る一方で、民間サイトのように日本関連のいい情報も実はたくさん発信しています。人民日報のネット版である人民網では日本の地方の小さな出来事や、毎週日本の面白いランキング、グルメや娯楽情報とかも紹介して

日本への留学経験がない中国人学生の日中語作文コンクール受賞作71本を収録。日中関係が冷え込む中、応募は過去最高の4749本に達した。家族や親友の猛反対に遭いながら日本語を専攻し、日本人教師や留学生、バイト先のお客、ゲーム作者とのメールなど、日本人と初めて接することで閉ざされた心に風穴が開き、戸惑い、あるいは交流へと突き動かされていく。みずみずしい感性と中国人らしいエネルギーにあふれた、若者たちの作文集。

——ある受賞者の「心の中に残っている敵意のバイアス」という言葉が印象的でした。国の歴史教育や家庭での「日本を許すな」という教えを通し、中国の若者には反日感情が刷り込まれていると聞きます。

実際には日本のカルチャーを通してた日本ファンが大勢います。ただ多くの若者は生身の日本人に直接触れる機会が非常に少ないんです。歴史教育とともに、連日流される抗日戦争のテレビや映画が若者たち

ます。政府の資金で日中交流を応援するサイトも、本当は作っているんです。

——そうした事実を日本人はあまり知らないかもしれません。

13年に新聞・テレビの中国総局長・支局長ら約20人に執筆してもらった本を出したのですが、中国からいいニュースを出しても本社でハネられるそうです。日本の本社は中国の悪い点や反日ムードばかりを取り上げようとする。実際に現場取材している特派員たちの意向とは異なり、それが報道の現実になっていきます。先ほど申し上げたような日本に学ぼうという政府系サイトの話など、日本のメディアは取り上げませんね。

私たちをもっと応援すべきじゃないかと思えます。彼らが日中の将来の懸け橋になるのですから。彼らの生の声に触れず、大手メディアの情報だけで中国を悪くイメージしてしまうのはすごく残念です。

——段さんは33歳で来日するまで、新聞記者だったんですね。

中国共産主義青年団の機関紙「中国青年報」で記者をしていました。1989年の天安門事件には、ジャ

マスコミ経由ではない 学生の生の声に触れて

ける牛歩戦術で発行をやめさせようとして、現場はけっこう頑張ったよ。2年後、たまたま

1ナリストとして失望しました。当時は毎晩2時の朝刊締め切り後、天安門広場へ通った。私は党员だったけれど学生と一緒にデモに参加しました。共産党中枢の新聞記者でさえ、あれはないと思った。われわれが現場で見て書いた記事を載せるよう編集長に詰め寄ったし、本来なら5時に印刷へ回すのに、紙面構成もゲラも出さないこともあった。活字工は10分で組むところを1時間もかける牛歩戦術で発行をやめさせようとして、現場はけっこう頑張ったよ。2年後、たまたま

妻が留学していた日本へやってきました。中核紙の1面デスクで出世コースにいたところから、まったくゼロの状態でも何も知らない日本に来るのは非常に複雑な心境でした。でも幸運だった。日本というすばらしい国を自分自身をもつて体験することができたのです。何より尊いのは言論の自由、出版の自由です。これは私の命より大事です。

もう一つ、普通の市民がどこの誰とも知れない一外国人にたいへん優しくしてくれたこと。アルバイト先の居酒屋の老夫婦が暇を見て日本語を教えてくれ、年末にはおせち料理を分けてくれ、まさに日本の文化、日本人の優しさでいつも助けられました。日本に来て本当によかったと感じてるんですね。そのためにこの日本語作文コンクールも死ぬまで続けていきたいし、若者たちに日本を経験するチャンスを提供したい。

——13億人のエリート段階から今のこの仕事まで、段さんにとって自然な帰結だったんですね。

こんな小さな民間企業でコンクールをやるには力不足であると感じています。それでもなぜやってきたか、何が得られるかといえば、若者たちを応援することで、私には時間という夢を、彼らに託せるからです。(聞き手:本誌・中村陽子)

たままではいる状態の片棒を、実は日本のメディアも担いでいる？

そうですね。たとえばわれわれの作文コンクールの表彰式の様子も、某新聞の特派員は、取材しても本社が取り上げない、と言ってました。ライブ紙が後援しているという事情もあるようですが、他社後援うんぬんにかかわらず、中国各地でこんなに熱意を持って日本語習得に頑張ってる若者



撮影:尾形文翠

ひと烈風録

脱原発とバブルまみれ
どっちも過激に一点突破

38 河合弘之

弁護士

評価は真っ二つ。現代の英雄と見る熱い視線の一方、「売名行為の塊」との冷めた見方もある。いったい、あなたは何者なのか、河合さん。



- 9 | 経済を見る眼 | 「定常状態」の中の日本経済 / 齊藤 誠
- 11 | この人に聞く | 眞藤 務 ● mmbi社長 | NOTTV撤退を決めた理由
- 29 | 少数異見 | 軽減税率適用をおねだり 新聞に政権批判はもう無理

この人に聞く
mmbi社長
眞藤 務

ブックス&トレンズ
「なんでそうなるの？」
段 躍中

9 経済を見る眼 齊藤 誠

11

100 中国動態 小原凡司

110

- 98 | 知の技法 | 米国情勢から読み解く2016年の国際情勢 / 佐藤 優
- 100 | 中国動態 | 土着化した人民解放軍に習近平が抜本改革を迫る / 小原凡司
- 102 | グローバルアイ | イスラム過激派への恐怖から排外主義が台頭する危険 / イアン・ブルマほか
- 104 | フォーカス政治 | 16年最大の攻防、参院選めぐり安倍・菅の政権運営戦略 / 塩田 潮
- 106 | 株式観測 | 「失われた20年」は過去形か現在進行形か / 大川智宏
- 107 | 為替観測 | 物価上昇の下振れ懸念で一段のドル高は限定的 / 門田真一郎
- 108 | 投資の視点 | 時価総額 | 首位のトヨタ2.6倍に 日本郵政はトップ10入り
- 109 | マクロウォッチ | 神奈川で空室率が急上昇 アパートローンは大丈夫か
- 110 | ブックス&トレンズ | 「なんでそうなるの? 中国の若者は日本のココが理解できない」を編んだ段 躍中氏に聞くほか
- 115 | ゴルフごんまい | 旭日小綬章受章は皆様のおかげです / 青木 功
- 117 | Readers & Editors | 読者の手紙、編集部から
- 118 | 生涯現役の人生学 | 恕 / 童門冬二

PR

- 5 ビジネスアспект | ダンロップスポーツ/ゴルファーの充実感を重視してきたからこそ生まれた ゼクシオ史上最高のクラブ
- 16 The Vision | 浦安市

図表作成：小堀賢吾 / 杉本祐子

本誌の記事は「日経テレコン」「G-Search」「ELNET」「FACTIVA」等のデータベースに収録されており、フリーキーワードで検索、購入できます。